

## 第15回天気予報研究会開催のお知らせ

2020年夏に、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。そこで、今年度の研究会は、「スポーツと気象予報」をテーマに実施します。特に真夏の東京は、猛暑や局地的大雨などの厳しい気象状況のおそれがある中で、様々なスポーツ競技が実施されます。当研究会では、真夏の東京地方の気象の特徴、各種スポーツと気象の関係、降水短時間予測、熱中症、競技関係者や海外の方々への気象情報の伝え方等について議論します。

気象関係の方だけではなく、スポーツ関係やスポーツに興味がある方など多くの方の参加をお待ちします。入場は無料です。

講演要旨などについては気象学会の天気予報研究連絡会のホームページに掲載します。

日時：2018年2月15日（木）13時30分～16時30分  
（受付開始13時）

場所：気象庁講堂（気象庁2階）

発表題目（順不同）：

1. 「真夏の東京の気象と災害」  
三浦郁夫（東京管区気象台気象防災部）
2. 「リアルタイム降水短時間予測と気象場の客観解析手法の紹介」  
清水慎吾（国研）防災科学技術研究所 水・土砂防災研究部門）
3. 「これまでのスポーツ気象サービスへの取り組み」  
内藤邦裕・浅田佳津雄（(株) ウェザーニューズ）
4. 「マラソン大会における気象データの利用」  
石樽亜紀子（テレビ東京・NHK 甲府気象キャスター）
5. 「熱中症の患者数に関する予測情報」  
平泉浩一（(一財) 日本気象協会）

主催：日本気象学会天気予報研究連絡会

問い合わせ先：下山紀夫

n-shimoyama@nifty.com